

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	平成23年2月1日
評価確定日	平成 23 年 3 月 25 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 22 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400487	事業の開始年月日	平成16年8月1日	
		指定年月日	平成16年8月14日	
法人名	医療法人桜城会			
事業所名	グループホーム友愛			
所在地	(246-0037) 横浜市瀬谷区橋戸3-54-9			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成23年1月25日	評価結果 市町村受理日	平成23年4月11日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族的な雰囲気と自由な気風

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成23年2月1日	評価機関 評価決定日	平成23年3月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①このホームは、友愛歯科クリニックを母体とする医療法人「桜城会」が運営している。ホーム長は、友愛歯科クリニック経営者の実兄に当たり、家族の縁の薄い方々のためのグループホームを作りたいとの強い気持ちから、大手電機会社から転身し、平成16年にこのホームを立ち上げ、利用者一人から出発し、種々の経験の上、今日に到っている。手作り感のある温かいホームである。立地は、相鉄線瀬谷駅から徒歩15分の住宅地にある。理念として「私達は、家庭的な雰囲気と人格を尊重し、自立のお手伝いをする」を掲げており、2階建の民家を借り受け、1階に4人、2階に5人の居室を設け、1階にリビング・台所が配置され、理念に沿った「家庭」がここにある。

②地域とのつきあいについては、地元の橋戸町自治会にホームが加入しており、自治会内の老人会には、利用者個々が加入しており、お誕生日会・花見会等の行事に利用者は出席し、楽しみとなっている。ゴミ出しの際には、利用者のお手伝いを得て、ご近所との挨拶も交わしている。運営推進会議は、メンバーの民生委員が欠員となっていた為しばらく開催していなかったが新民生委員も決まり、近々開催予定とし、これまでお誘いしていなかった包括支援センターもお願いし、今後は、参加頂ける事になっている。瀬谷区・旭区の合同グループホーム連絡会にも役員として出席し、情報交換に努めている。

③ケアについては、理念の「自立へのお手伝い」を職員一同認識しており、日頃より利用者との意思の疎通に注力して、職員間のコミュニケーションも良く、意見を出し合い、ケアプランに反映している。食事は、利用者の意見・好みを参考にして普通の家庭のように毎日その日の昼食・夕食メニューを決めている。終末期ケア、ホーム長の開所からの思いと、全職員の共通意識も確立されていることから、これまでも看取りを行っており、家族の縁の薄い利用者の中には、お葬式の手配・お墓の手配なども家族に代わって行ったケースもあり、手厚い介護に努めている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム友愛
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者を自分の家族や家庭と思い家庭的な雰囲気而努力している	理念の「家庭的な雰囲気と人格の尊重」を実現するため、職員には、採用時の研修・お盆・暮れの懇親会などで、「自分の親・家族と思って介護をする」事をホーム長は伝えており、全職員が、それを認識し実践につなげている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のふれあい会や老人会のお誘い会に参加している。また自治会にも参加している。	橋戸自治会にホームとして加盟しており、自治会内の老人会には利用者個々人が加入している。老人会主催のお誕生日会・花見会に参加している利用者もいる。近所の幼稚園からのお誘いで、もちつき大会・運動会への参加がこのところ中断しており、復活を目指している。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方がたずねてきたときなど心配事の相談に乗ったり認知症の接し方等協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者等の意見を行事に生かしている。	メンバーは、町内会長・民生委員・利用者家族などから構成されているが、民生委員が欠員となっていた為、しばらく開催できなかった。新しい民生委員も最近決まったので、新たに下瀬谷包括支援センターもメンバーに加え、2月中にも開催予定をしている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区の保護課の方等に取り組みの報告や心配事など相談している。瀬谷、旭区のグループホーム連絡会にも参加している	瀬谷区役所、利用者と関係ある保土ヶ谷区・大和市の関係部署との連絡を取っている。瀬谷区・旭区合同のグループホーム連絡会（メンバー28事業所）による2カ月に一度の例会にも出席し、情報交換・収集に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束のないケアに取り組んでいるが必要の有った場合を家族の方と相談して入る。	身体拘束のないケアの実践に努めている。利用者の中に、入院から帰ったら、急に部屋で、排泄し、手で混ぜる癖が出た方がいて、他の利用者に迷惑がかかるので、家族の了解も得て、介護衣かミトン型手袋をつける事を考えたが、辛抱強くトイレへの誘導を煩瑣に行うことにより、身体拘束なしに、その癖を克服できた事例がある。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同上		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	瀬谷区社協に入会しその様な指導を受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者の家族や市の職員立会いで契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。近くの入居者の家族など面会時意見を聞くようにしている	家族との縁が薄い利用者が多い為、ご家族よりの要望を聞く機会が少ないが、面会に来られるご家族からは、来訪の都度意見を聞くようにしている。自分の考えを言える利用者も多く、利用者の意見も考慮している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の時や何か問題が発生した時、すぐに管理者に話せる場と人間関係システムになっている	日頃より職員間のコミュニケーションが良く、気がついたことは、すぐに言い合える雰囲気がある。年2回の全職員との飲み会では、本音を述べ合い盛り上がり、チームワークの確立に役立っている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働条件や職場に生き甲斐のある改善に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市で行う研修に積極的に参加させて自己のスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のGH連絡会（瀬谷旭）の行事や研修に参加し勉強会を開催している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	特にその人の性格に合った人を担当者として不安や悩みを早く解消するよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	認知症の初期症状を理解していない事が多いので具体的に理解していただける様、説明している。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同上			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と入居者も家族と思い生活している。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	同上			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで付き合いしてきた方が面会に来ても宿泊していただいたり手紙を書いたりしていただく	遠方（宮城）から利用者の知人が来訪され、このホームに何日か宿泊し、利用者と一緒に遊びに行くこともある。利用者の中で、近所に家族のいる方は、良く来訪頂き、支援に努めている。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	まず、出生地同士や故郷同士仲良くし、仲間意識を持って団欒に勤めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	前例がないが祖の様な関係でいたい		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人外出や個人で買い物等に一緒に行かせているかたがいる	利用者の関心が深い食事のメニューについては、毎日、利用者の意見を聞き、参考にしながらメニューを決めている。個人的な外出や買い物にも出来る限り、都合を併せて要望に応じている。意向の把握の難しい方からは、表情・動作により汲み取るようにしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人にあった生活習慣特に昼ね等個人差が出てきたのでそのように配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	同上		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議を基本に介護計画を作成している特記したい項目がある場合は、併せて親しい担当者の意見も聞いている。	ケア会議を基本として介護計画を作っているが、気の合う職員と利用者との関係を把握しており、その職員からの意見は特に参考になる。看護師の資格を持つ非常勤のケアマネジャーが出席のもと、最終的に介護計画が決定される。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	同上		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居の体力や体調にあわせた外出や散歩、リハビリをしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	同上		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診と週1回の訪看契約し医療連携契約をした。	医療連携体制を確立している。協力医療機関の御殿山クリニックからは、月2回の往診と週1回の契約看護師の派遣を受けている。このホームと同法人の友愛歯科クリニックには訪問治療及び衛生指導を受けている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携契約をした。特に今までよりも連絡が向上した。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常に家族の方やドクターと相談して祖の様な対処をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	延命治療の件や万一の対処法を家族の方と常日ごろより話文書化している。	終末期ケアはご家族との合意の上で、既に6人を経験しており、職員全員の共通認識を確立している。ご家族に縁の薄い利用者の場合、家族に代わってホーム長が、お葬式・お墓の世話までしたケースもある。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを用意し救急の対処を個人別に作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間の火災想定火災訓練のマニュアル作成中	年2回の避難訓練を消防署立会いの下、行っている。近々夜間想定火災訓練を行う予定で、近隣の住民の方々にも声がけを行い、参加して頂く予定とし、地域の協力体制を築いている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念にもありそのように実施している。	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーについて、ホーム長が特に理念にも掲げ重要視している課題であり、日頃より利用者の方々の信頼関係の確立には、職員共々配慮している。尊敬の念を持った言葉遣いと親近感を醸し出す言葉使いのバランスを考えている。失禁した場合などでは、自尊心を損なわぬよう配慮に努めている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	そのように極力している。好物のものが食事に反映できるようにもしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	風呂の時間帯や席順等そうしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ひげ髯や理容は、その方の好みに合わせている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望に沿ったメニューを心がけている。	食材の手当には、生協の宅配便を主に利用して、1週間分をまとめ買いし、その材料を考えながら、利用者の要望を聞き毎日のメニューを決めている。野菜等は近所の野菜スタンドへの買い出しも利用者の散歩も兼ねて行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人に応じた水分や食事摂取に心がけている			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる方には声がけしそうでない方には支援し、週に一度歯科の指導も受けている			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方にあわせて時間を決め声がけや支援をしている。	利用者の排泄のパターンを記録し、声かけによりトイレの誘導を行っている。夜間おむつ着用利用の利用者にも、昼間はリハパンにパッド使用で、トイレでの排泄を試みて自立に向けた支援に努めている。		今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	同上			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	嫌いな方には押し付けず風呂好きの方には時間を決め楽しんでいただいている	利用者の男女の割合が男性5名女性4名と拮抗しており、一日毎に男性の日と女性の日に分け、入浴頂いている。日中の10-15:00ぐらいの時間を入浴に当てている。入浴の嫌いな方にも、無理強いせず種々工夫しながら入浴して頂いている。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	要望どおりにし特に昼夜あまり関係なく睡眠をとっている			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理はホームで一日分を整理し服薬している。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	おやつや食事以外に個人的に折り紙等で気分転換していただいている			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人外出をできる方にはしていただいている	月に一度は、外食を心がけており、歩いて行ける回転ずしや和食チェーン店に利用者全員で行き、利用者も楽しみにしている。散歩の行ける方は、近くのお寺まで車の少ない散歩コースに出かけている。ご家族の協力を得て小田原までお墓参りに行かれる方もいる。		今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はお金に理解できない方が多いが1人の方には祖の様な支援をしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状等支援した。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者も掃除を手伝ったりしてそのようにしている	毎日、通路・階段・リビング等は、利用者のお手伝いも得て掃除を行い、清潔に努めている。リビングには、クリスマス・節分・ひな祭り等、季節感を出すための飾り付けを行い、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	いつでも一人になったり共用場所で過ごせるよう大体のスペースを決めてある		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の慣れたものを持参し今までの生活と変わらないような生活に心がけている。	入所時に利用者・ご家族との話し合いでご本人の馴染みの家具・備品を持ち込んで頂き、自分の好みの部屋作りをして頂き、本人が快適に過ごせるように支援している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の能力を引き出すよう支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム友愛

作成日 平成23年2月1日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
		職員の教育レベルの統合と意識改革	より高度な介護	認知症研修や講習会に参加し意識改革をしホーム全体に伝える。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。